

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

内容
<p>■実施形態及び内容</p> <p>出演：オーケストラの演奏者3人、指揮者1人、ピアニスト、司会の6人 オーケストラで使われる楽器を一つずつ間近で見せながら、その奏者が解説をします。楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。説明の後には短い演奏を行います。</p> <p>①導入：オーケストラの自己紹介、コンサートマナーのお話し(5分) ②楽器の造りや歴史のお話し、3分ほどの演奏、質問コーナー(15分×オーケストラ演奏者3名+ピアノ奏者10分) ③ピアノ伴奏でビリーヴの練習(指揮者15分)</p> <p>※途中休憩10分～15分予定 ※吹奏楽部との共演を希望する学校の場合は、吹奏楽部指導をワークショップ当日に行います。</p> <p>■効果</p> <p>オーケストラを知らない子供たちにとっては、おそらくテレビの中だけの存在になっています。ワークショップにはオーケストラの楽員が訪問して、オーケストラで実際に使用される楽器や演奏する姿を見せることで、「身近に感じてもらうようにする」というのが一番の目的です。本公演が何倍も楽しみになるようにワークショップを行います。また、休憩時や交流給食の時に、吹奏楽部の生徒や音楽家が将来の夢としている生徒たちと触れ合うことで、今後の成長のきっかけとなれば幸いです。</p>

タイムスケジュール(標準)
09:00-10:30 演奏者リハーサル(リハーサル中に本公演に関する打合せあり)
10:45-12:15 ワークショップ

派遣者数
6名

学校における事前指導
特にありません。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

演目
<p><第1部> スメタナ：歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広：「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」（ナレーション付き） 協奏曲（モンティ：チャールダーシュ、モーツァルト：ファゴット協奏曲など） ※協奏曲のソリストにはできるだけ派遣地出身楽員を起用 （休憩15分）</p> <p><第2部> ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」から第1楽章 【★指揮者体験】ビゼー：歌劇『カルメン』より前奏曲 【★生徒との共演】杉本竜一：BELIEVE（ビリーヴ）・訪問校校歌（オーケストラ編曲版） 外山雄三：管弦楽のためのラブソディ アンコール）久石譲：君をのせて（映画『天空の城ラピュタ』より） ※★の2コーナーはご希望に沿って変更いたします。差し替える場合は主に下記の曲目を考えていますが、該当校との調整で決定いたします。 アンダーソン：トランペット吹きの日 アンダーソン：シンコペーテッドクロック 黛敏郎：スポーツ行進曲 訪問校校歌（オーケストラ編曲版） 該当校吹奏楽部・器楽部などとの共演</p>

派遣者数
スタッフ含め80名

タイムスケジュール（標準）
09:00-09:30 搬入
09:30-11:00 会場設営
11:00-12:30 リハーサル
13:30-15:00 公演
15:00-16:30 撤収

実施校への協力依頼人員

指揮者体験希望校のみ3名

演目解説

2部構成で、前半の第1部ではオーケストラの各楽器に焦点を置き、後半の第2部ではその楽器が集まって作られる「オーケストラ全体の響き」を肌で感じられるプログラムで構成しています。

第1部は『売られた花嫁』序曲の華やかな響きで開幕します。弦楽器・木管楽器の細かいパッセージと各パートのアンサンブルが非常に重要な曲で、オーケストラ内のチームワークが織り成す音の緊張感が、日常から非日常への扉を開き、各体育館を劇場に変貌させます。「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では各楽器それぞれ一つずつを、ナレーション付きで紹介합니다。

- | | | | |
|-----------------|------------------|------------------|-----------------|
| ①グループの紹介 | 〈星に願いを〉 | ⑧コントラバス | 〈イツ・ア・スモウ・ワールド〉 |
| ②フルート、ピッコロ | 〈ハイ・ティ・トル・デー・デー〉 | ⑨ハーブ | 〈イツ・ア・スモウ・ワールド〉 |
| ③オボエ、イングリッシュホルン | 〈ホル・ニュー・ワールド〉 | ⑩ホルン | 〈美女と野獣〉 |
| ④クラリネット | 〈狼なんか恐くない〉 | ⑪トランペット | 〈チム・チム・チェリー〉 |
| ⑤ファゴット | 〈ビビ・ディ・ハビ・ディ・ブー〉 | ⑫トロンボーン | 〈ジッパ・ディ・ドゥー・ダー〉 |
| ⑥ヴァイオリン | 〈イツ・ア・スモウ・ワールド〉 | ⑬打楽器 | 〈ミッキー・マウス・マーチ〉 |
| ⑦ヴィオラ、チェロ | 〈いつか王子様が〉 | ⑭トutti(全合奏)によるフガ | 〈エレクトリカル・ハート〉 |

協奏曲では一つの楽器にクローズアップし、ソロの妙技を楽しみます。ここで登場するソリストは、派遣地域出身の楽員を起用する予定ですが、該当者がいない場合は、ワークショップに出演した奏者や、若い奏者など、生徒と共感を得易いという視点から起用します。

第2部はオーケストラの響きを存分に楽しむと同時に、「作曲家の歴史」や「音楽の地域性」を同時に学ぶ事のできるプログラムを揃えています。交響曲「運命」ではベートーヴェンという作曲家がどのような人間で、いかなる辛さを乗り越え、そしてこの曲を作るに至ったかという作曲の背景を学んだうえで、それがいかに音楽に表れているかを聴いてもらいます。生徒が参加できるコーナーを挟んで、フィナーレでは日本特有のリズムやメロディがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラブソディ」で締めくくります。アンコールで、子供たちに耳なじみのある「君をのせて」を演奏して終演となります。

生徒が参加できるコーナーについて

指揮者体験コーナーでは指揮者の役割を学びつつ、実際に数人の代表者にオーケストラを指揮してもらいます。BELIEVE(ビリーヴ)ではオーケストラと一緒に共演することでその壮大なハーモニーを作ることの楽しさを提供します。また訪問校の校歌をオーケストラ編曲し、共演を行います。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

①指揮者体験コーナー

指揮の仕方と役割を指揮者が解説した後、実際に生徒の代表 3 名にタクトをもってオーケストラを指揮してもらいます。

②みんなで歌おうのコーナー

歌うために簡単な準備体操をした後、オーケストラ伴奏で BELIEVE(ビリーヴ)や校歌を全員で歌います。ワークショップ時にも事前練習を行い、オーケストラとの共演をより良いものにできるように指導します。

③その他

床に直接座って鑑賞する子供たちもオーケストラ全体を見渡すことができるように、生徒から見て奥に配置されている管楽器はひな壇上で演奏します。

また、吹奏楽部や器楽部の共演を希望する場合には、各校吹奏楽部の部員にとって一生懸命記憶するような「素敵な思い出」にできるよう、各学校の部活状況をお伺いした上で最高の公演にできるような指導プログラムを準備いたします。

児童生徒とのふれあい

司会が子供たちに語り掛ける形で行うほか、開演前や休憩中に興味を持つ子供たちとの直接の触れ合いを行うようにします。

